

平成27年度 第3回新宿区産業振興会議 議事要旨

- 【日時】 平成27年9月4日（金） 午後6時～8時
【場所】 B I Z新宿（区立産業会館） 多目的ホール
【出席者】 委員：植田、河藤、川名、松尾、酒井、前田、志村、加藤、富田、益田、遠藤各委員
事務局：加賀美地域文化部長、太田産業振興課長、黒澤産業振興係長、久野主任主事、
後藤産業創造プランナー

【欠席者】 太田、友成各委員

【傍聴者】 なし

【配布資料】 省略

【内容】

1 開会

2 委員委嘱

3 区長あいさつ（要旨）

・新宿区は、ビジネス・文化・居住機能などが集積する多様性に富んだまちである。この多様性を活かして、持続的に発展する都市を築いていくため、魅力的で歩いて楽しいまちづくりを進めていきたいと考えている。5年後には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるが、それをひとつの動きと捉えて、文化・観光、産業振興、都市基盤整備、ユニバーサルデザインなどの施策を総合的に推進し、国際観光都市・新宿としてのブランド力の向上を図るなど「賑わい都市・新宿の創造」に向けて取り組んでいく。2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックについて、招致の時の熱い思いが今揺らぎつつある中で、やはりこの機会を活かして、何に取り組んでいくのかを明確にしていきたいと思っている。東京オリンピック・パラリンピックを契機に、いかに新宿のまちの産業を振興していくのか、考えていただければありがたいと思う。現場でお仕事をされている皆様から、産業の活性化に対するご意見をいただき、そしてご意見をいただいて終わりにしないように、精一杯、真剣に取り組んでいきたい。

4 委員自己紹介

5 議 事

(1) 会長の選出・会長あいさつ

新宿区産業振興会議規則第4条の規定に基づき、互選により植田委員を会長として選出した。

会長あいさつ（要旨）

・新宿のまちは、どこがどう動いているのか非常に見えにくい。そういう地域であるがゆえに、動いているところと変わらないところ、この二つを統一的に見ていくことが、これから重要になるかと思っている。新宿ではこれから産業実態調査を行い、そこから産業振興プランを考えていこうという時期に差し掛かっている。産業振興会議も1期と2期は、産業振興基本条例の制定後、勢いをつけて新しいことをやっていこうと進んできた。三段ロケットでいくなれば、今までは第一段ロケットで、その推進力で大気圏を出たところであり、これから軌道修正をしながら、本来向かっている軌道の方へコントロールしなくてはいけない時期だと考えている。また皆さんと協力して頑張っていきたい。

(2) 副会長の指名

新宿区産業振興会議規則第4条の規定に基づき、会長が河藤委員および川名委員を副会長に指名した。

(3) 第2期報告書について

資料3に基づき、第2期報告書について事務局より説明した。

(4) 第3期の進め方とスケジュール

資料4、資料5および資料6に基づき、第3期の進め方について事務局より説明した。

(5) 現行の産業振興施策

現在行われている産業振興施策について、事務局より説明した。

(6) 平成18年 産業実態調査概要

資料7および資料8に基づき、平成18年に実施した産業実態調査および他区の調査実施状況について事務局より説明した。

6 主な発言内容

産業実態調査について

- ・調査対象は、多様性のある地域であることから、業種を絞らず、あらゆる業種を対象とした調査をするということだが、調査の必要のない対象もあると思うので、その辺をどう考えるのか議論が必要である。
- ・都市型産業という点で考えていくと、業種の区分を従来の区分で分けることは難しい。業種の区分も今後は検討していく必要があり、実態をリアルに把握したいということで考えていきたい。新宿らしい業種の考え方も、問題提起していく必要があるかもしれない。
- ・調査対象のデータをどこから持ってくるのかを検討しなければいけない。一般的には経済センサスという国の事業所・企業データベースを活用した方法である。しかし新宿の場合には、そこに載っていない企業が多くあるだろうと考えられる。新規開業したばかりの企業やマンションの一室で事業活動しているところは、データベースにはのっていない可能性がある。そういうところがどういう会社なのかということを知りたいができない。そこをどうするのかという問題がある。
- ・このような調査は、回収率が低く圧倒的多数が答えていない。多くの企業が答えてくれる調査にしたい。そのためにはどうしたらいいのかを検討する必要がある。
- ・回答率を上げる方法として、WEB調査を考えてみてはどうか。小規模の企業は紙ベースでの回答だと難しいのではないか。
- ・既存の調査では分からないことを発見して、産業振興プランなどに反映させていくという目的で実施する必要があると思う。そのためには何を知らなくてはいけないのか、何がわかっておらず、何をわからなくてはいけないのかをはっきりとさせる必要がある。新宿区の地域の特性からすると、新しい産業や新しい企業がどういう形で現れてきているのかがわかるといいと思う。また、新宿という特性を活かして頑張っている産業や企業を発見していきたい。企業や商店街が実際に動いているのか、場はあるけれども企業、経済が動いているのかがわかるといいと思う。
- ・どのようなことを知りたいのかということを入力に、そのためには何を明らかにしていかなければいけないのか、どういうデータを取らなくてはいけないのかを示していき、これらを得るためにはどういう調査があるのか、という流れで議論に入っていく必要があるかと思う。
- ・外国人観光客に向けての対策を、調査項目に入れてはどうか。
- ・地域の何かと連携して仕事をしているか、地域資源は何だと考えているか、地域資源を活用しているか、新宿ならではのものは何なのか、新宿同士の企業で何か新しいことを始めているかというのは聞いてみたい。それには新宿ならではの定義をまとめた方がいいと思う。
- ・調査するのが難しいと思うが、これから事業をしようとする人の調査は出来ないだろうか。なぜ起業しようとしているのかを知りたい。

7 次回日程について (予定)

日 時：平成27年11月11日(水) 18:00から

会 場：BIZ 新宿 多目的ホール

8 閉 会